

ヒューレックス、330超の地域金融と提携

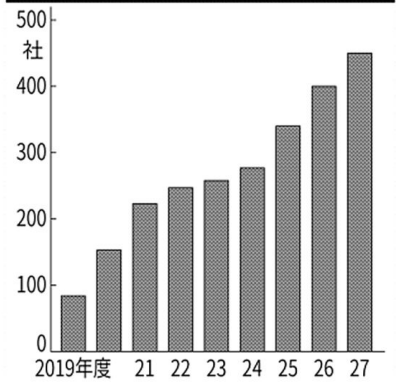
人材紹介のヒューレックス(仙台市)が金融機関との連携を通じた中小企業支援の取り組みを加速させている。業務提携する地域金融機関は330を超え、経営者の高齢化や後継者不足といった悩みに寄り添う。金融庁が策定した「地域金融力強化プラン」も、同社が手掛ける「人材を軸とした地域創生」の追い風となりそうだ。

ヒューレックスは2003年設立の人材紹介・コンサルティング会社。営業範囲は全国にわたる。25年2月には二子の高まりをうけ札幌市に新たに拠点を開設した。グループ内に結婚支援サービスのマリッジ(仙台市)、M&A(合併・買収)支援の事業承継推進機構(AOB A、仙台市)を持つ。

特徴は中小企業に的を絞った支援と、地銀や信用金庫・信用組合といった地域金融機関との結びつきの強さだ。19年には

人材を軸に中小支援加速

金融機関との提携数の推移



(注)26、27年度は計画
(出所)ヒューレックス

金融機関サポートセンターを本社内に設置。現在では全国の9割近い地銀と業務提携し、中小の探用支援や首都圏からの人材の呼び戻しに取り組みている。

地方創生に重点を置く姿勢は、金融当局とも共通している。金融庁は25年12月に「地域金融力強化プラン」を策定した。人口減少や少子高齢化が進むなかで、地域金融機関が資金供給にとどまらない幅広い金融仲介機能を発揮できるようにする内容だ。

「地域金融力強化プラン」を軸に、中小企業への移行事例も増えている。佐藤文昭常務はこう語る。業績悪化

「地域金融力強化プラン」を軸に、中小企業への移行事例も増えている。佐藤文昭常務はこう語る。業績悪化

だけでなく、電機大手などで構造改革の一環として人員整理を行う企業もある。大手企業でのノウハウを持つ人材は経営や事業承継に悩む中小にとって貴重な存在であり、ヒューレックスがUターンやイターンの仲介役を担っている。

13年に設立したマリッジでは「結婚承継」という形で事業承継をサポートする。配偶者が決まっていない経営者の息子や娘向けに結婚相手となりうる人を紹介する仕組みだ。マリッジも100を超える地域金融機関と業務提携をしており、医師や弁護士など工業を中心に

「第2の人事部」へ 事業承継や婚活も支援

(前年比1・9%減)で過去2番目の高水準だった。新型コロナウイルス禍からの回復に注力し、後継者の育成や事業承継まで手が回らない事情もある。

自治体が主催する婚活支援イベントにも協力している。静岡県伊豆市や福島県南相馬市などとサポート事業を展開してきた。2月には寺院の後継者不足に焦点を当てた全国的にも珍しいサービスも開始した。「テラコイ」と銘打ち、寺院用品や仏具を扱う中居堂(仙台市)と協力して生活背景や家業理解を重視した婚活を後押しする。

松橋社長は今後も地域金融機関との提携を拡大させる方針だ。ヒューレックスとしても新規株式公開(IPO)を目標に掲げる。よりコンサルティング型の提案ができるよう、営業担当の社員数を増やすなど体制を強化していく。

(岡西善治)

許諾番号 002145 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2026年2月26日 日本経済新聞 地方経済面 東北

日本経済新聞社 無断複製転載を禁止します。